

豊山町臨空第2公園整備検討会議 基本計画（案）意見

●アリーナの整備について

【加藤委員】

- ・700人規模の避難所施設として利用できることを必須要件とした上で、町民の健康増進等に寄与することを想定して、以下の機能の付加についてご検討願いたい。
 - ① 空調設備を完備している事
 - ② 非常時を想定した電源設備と備蓄倉庫
 - ③ 可動式の客席もしくは組み立て式の椅子及び収納庫
 - ④ 平時に体育館として利用できる空間とは別のトレーニングルーム
(簡易なマシントレーニング、体力測定、ヨガなどに利用可能な部屋)
 - ⑤ 壁面等を利用したボルダリング施設 (子供たちが体験できる施設)
 - ⑥ 運動後に利用できる浴室 (スポーツ利用者以外の一般外来の利用も要検討)
 - ⑦ 更衣室、会議室等のイベント開催時のバックスペース

【柄谷委員】

- ・子供たち (子育て世代) や高齢者を対象とした多様なプログラムの実施 (健康増進・デイサービス (避難できる体力をつける)、遊びの学校・防災教育 (命を守る行動ができる) など)
- ・避難者700人超を想定した生活物資の備蓄 (例: 宿泊避難者+弁当 (物資調達のみ) 避難者の考慮)
- ・避難が困難な要配慮者スペース (個室の常設が困難であればパーティションで区切るなど) の確保 (平時のゾーニング)
- ・情報を一元化・発信できる運営本部会議スペース
- ・健康不安等の個別相談できる仕切られたスペース
- ・停電時に最低限の電源を確保できる自家発電・ソーラー発電など
- ・無線装置など災害対策本部等との災害時の連絡手段の確保 (無料Wi-Fi 設備等)

【坪井委員】

- ・アリーナ部分に空調設備整備
- ・トレーニングジム、シャワー室、更衣室、控室、会議室整備
- ・観覧場を整備 (できたら3面に)
- ・ランニング、ウォーキングコースを整備 (200mか250m) 避難時でも健康維持のため
※上記のイメージは小牧パークアリーナを参考に (別添)
- ・アリーナ部分に非常用コンセントを多く設置

【安藤定雄委員】

- ・資料にある通りアリーナ内の整備につき、音響をもちろんよくするものとし、資料にもあるように、コンサートホール等、他の大会等が出来る様にして頂きたい。客席も700~1,000人規模にしていただきたい。(イス固定が望ましい)
- ・上記での意見としてだめであるならば、別に会館施設を建設したらどうか。規模に関しては、客席600~800人程度の大きさで建設したらいいのでは。設備は近代的なものとする。

【池山委員】

- ・アリーナ≠体育館のコンセプトで進めていただきたい。
- ・スポーツクラブ、同好会だけでなく、高齢者、障がい者、子供達がいつでも愉しく利用

できる施設であるべき

⇒ニュースポーツが可能な屋内設備、自由自在のゾーンレイアウト、バリアフリー

⇒県が整備する屋内運動施設とバッティングしないよう、差別化や特徴づけが必要

- ・青山地区の4公民館は手狭、また「総合福祉センターさざんか」も実質は児童センター可しているため、総合福祉施設としても活用していきたい。

⇒可動式間仕切りによる室内空間造り、入浴施設、音場設備を備えた文化・芸能の場

- ・上記を踏まえると親しみやすいサブネームを付与したい

⇒ex. 小牧パークアリーナ、グルッポふじとう（春日井市、但しアリーナではない）

【石川委員】

- ・冬季の災害時に備え、床暖房設備がほしい。

【河村千恵委員】

- ・災害時には避難所として、防災機能を持つ防災アリーナ

- ・平常時はスポーツを通じ町民の健康づくり、色んなイベントで町民が集い憩いの施設にしたい

- ・アリーナ・音楽ホール・トレーニング・多目的ラウンジ⇒避難スペース

- ・会議室・キッズルーム・授乳室・おむつ替えシート設置・多目的トイレ・給湯室

- ・オープンな受付ホール・医務室・備蓄倉庫（地下）・休憩や食事・打合せ等に利用できる多目的ラウンジ

- ・防災グッズの展示や工作で備えを体感する。防災体験学習施設・映像ホール

- ・屋上テラス…ソーラーパネルで停電時でも明るさを取り込める⇒一時避難場所
展望デッキへは外からスロープで行けるように

【佐藤委員】

- ・指定避難施設として考えると青山地区の被災者を受け入れるという想定であるならば収容人員に対する施設規模、設備等は問題ないと考えます。

- ・しかし、南海トラフ規模の巨大地震により大津波が発生したと想定すると、名古屋市などから避難する被災者を一時的に受け入れることも必要になるのではないかと考えます。

- ・愛知県の広域防災拠点、防災公園という位置づけから相当数の被災者が豊山町を目指して集まるのではないのでしょうか。避難所内に全てを収容することは不可能だが、少なくとも飲料水、非常用トイレ、電源等の設備は十分に備える必要があると考えます。

- ・温浴施設の設置は、平時はアリーナや公園利用者等が有料で利用できるものとし、にぎわい施設を訪れる目的のひとつにもなりうるのでは是非とも実現させていただきたいと考えます。

【上田委員】

- ・スポーツができる施設以外に、会議室や休憩できるスペースがあったほうが良い

- ・観覧席は、2階部分で体育館を囲むようにあったほうが良い

- ・体育館の中は、色んなスポーツ、団体で行えるようにネット等を張ったほうが良い

【山田委員】

- ・少なからず、都市公園等事業の負担は町にもあるので、賑わい施設だけでなく、アリーナ側でも収益事業を検討されては。

（各種イベントの開催、屋内スポーツ大会など、利用料の設定）

【竹内委員】

- ・2階席固定+移動観覧席

⇒大人数の収容が可能になる（式典時のコスト削減効果も）

体育館・式典。発表など様々な用途に対応できる

- ・大型電動間仕切り「ディバイダーの導入」（コトブキシーティング(株)製品「SIKIRUTO」）
⇒常時：別の球技同士の安全性→間仕切り使用しやすさUP→利用団体増
スクリーンの機能を持つ、多用途できる

非常時：女性、子連れやファミリーの避難場所、病気やけが人を仕切ることができる

【河村環委員】

- ・シルバー人材センター支部4畳半ぐらいの部屋でもあれば、青山地区の田畑がなくなり働ける高齢者の集いの場所としてほしい。
- ・ボードゲーム（将棋、囲碁、オセロ（2～3セット小数台））
- ・卓球、ニュースポーツ（カローリング・吹矢・タスポニー（素手テニス）・スラックラインなど）
- ・フィットネスバイク・運動機器（ウォーカー・ボート漕ぎ）保健センター・社会教育センターにあったものを活用。定期的な指導ビデオなどあり。
- ・海の家にあるような簡易シャワールーム
- ・ロッキングチェア、マッサージチェア

【二村委員】

- ・県屋内運動施設と町アリーナで競技種目が重複しないようご配慮いただきたい。
※賑わい施設の北側の愛知県防災公園にはスポーツの試合や各種イベントの開催などマルチに活用できるような屋内運動施設を整備する計画としており、具体的な競技種目は事業者提案による。（要求水準書の想定は屋内テニス場）
- ・避難所として運用する場合、ライフライン途絶時の計画については、県と協議をお願いしたい。

●賑わい施設の整備について

【加藤委員】

- ・中核的な施設として以下を想定
 - ① 愛知防災公園利用者や近隣町民のニーズに応える小売店舗（コンビニ機能）
 - ② 町民にとって憩いの場となり、アリーナ利用後にも休息できるカフェ
- ・これに加えて以下の施設をご検討願いたい
 - ① 地元事業者の商品等を扱える展示・物販施設（小規模で良い）
 - ② テイクアウト可能な惣菜店舗
 - ③ BBQも可能な屋外飲食エリア（テーブル、椅子、パラソル等）
 - ④ アリーナとの往来が快適な全天候型の動線

【柄谷委員】

- ・オープンカフェでの防災トーク等プログラムを通じた多様な関係者との情報交流
- ・空や緑・空間を意識できる開放的なオープンテラス型カフェ
- ・子供から高齢者まで安心できる（地元）食材を用いたカフェ（例：JAみのりカフェ等）
- ・JAや地元事業者による新鮮な農産物の直売（朝市などによる賑わいの創出）
- ・夜間避難を見据え夜景を見ながらディナーを楽しめるオープンカフェ

【坪井委員】

- ・スーパー銭湯を誘致

【安藤定雄委員】

- ・人が入りやすい構造及び位置にするものとする。
- ・資料にもありましたが、一日中何かをしていられる様な施設になると良いです。

- ・温浴施設、25mプール、健康増進機能等の整備を望みます。(もちろん有料とする)

【池山委員】

- ・41号からは離れており一見客の誘致は大変難しい。町の魅力の発信といっても？物販でいくならアグリマルシェ春日のように青山の地域住民のよろずやであるべき。
⇒似たり寄ったり、商品も偏っているコンビニではなく、昔の酒津屋、川口屋イメージ
- ・集客を本気で考えるならスターバックスを併設すべき。或いは小牧こども未来館みたいに子供さん向けの施設（遊びではなく智慧を授ける場）を併設すべき。
- ・四国の山奥（徳島・木頭地区）にある「未来コンビニ」のような世界一美しいコンビニを訴求できるくらい大投資し、びっくりするような建築物を造るしか手がないのではないか。
- ・流行のクラウドファンディングで資金を調達する。

【石川委員】

- ・東側には変電所の鉄塔、消防学校、カフェ等が出来た場合、雰囲気はどうか？まちの魅力となるのか？

【河村千恵委員】

- ・そらいろカフェ
- ・お値打ちでお腹いっぱい食べられるフードコート的なスペース
(サンドイッチ、牛丼、うどん、ラーメン、ハンバーガーetc) 給食センターで作る給食
- ・時間を決めて家族でランチを手作りする。
 - ・地元のさつまいもで鬼マンを蒸し、飲み物とセットで
 - ・野菜たっぷりなパスタランチ（水漬けパスタを使用）

【佐藤委員】

- ・「景観に配慮した空を感じられる施設」「県防災公園全体に一体感があり、利用者が回遊できる施設」という方針には賛成。加えて集客できる魅力ある施設とすることも大切ですが、やはり地域住民の憩いや利便にも十分に配慮する必要があると考えます。
- ・賑わい施設は、来場者が駐車場、バスターミナルからエントランス広場、芝生広場を回遊していきと時のアプローチ施設であるとともに、公園のイメージを司る顔となる施設とすべきと考えます。
- ・「空を感じられる」というコンセプトを活かし、都会的でお洒落な景観の施設とし、年間を通して周辺自治体及び県外からも幅広い年齢層の来場者に訪れていただくことを期待しています。
- ・賑わい施設内には、カフェや軽食、焼きたてのパンなどが飲食できるスペースを設け、近隣住民の方々が気軽に集い、食事や買い物を楽しむことができる憩いの場となるようなプランニングをお願いします。
- ・売店には、愛知県内の特産品や地元の農産物などを購入できるコーナーのほか、商工会員の商品を販売できる「豊山コーナー」を是非とも設置していただきたいと考えます。
- ・また、賑わい施設の目玉として名古屋市中央卸売市場北部市場と連携し新鮮でお値打ちな青果や水産物が購入できる店舗またはコーナーがあれば良いと思います。

【山田委員】

- ・施設の集落として、41号線沿いに看板の設置を検討されては。
- ・青山地区は近隣にスーパー等がなく、買い物難民の方が多くみえるため、マルシェ（常設）の整備。

【竹内委員】

- ・スターバックスの参入
⇒人・地域・コミュニティのつながりを大切にしている企業
(体現している例：名城公園店は地域団体や行政を巻き込んでコミュニティの輪を大きくしている) 小さな町豊山町はつながり・協働が必要
その他にも
 - ・質の高いコミュニケーションのできる人材育成
 - ・ブランド力
 - ・価格ではなくホスピタリティ重視
 - ・ロケーションに合わせた高いセンスの店舗
- ⇒様々な効果が期待できる
- ・「ここだけ」を沢山取り込む
- ・多彩なコミュニティ空間
- ・北窓（飛行機が見える景色になる）の有効活用（南窓や西窓は結局ブラインド等で絞めてしまう）まぶしくない、安定した明かり、ブラインド等不要、空港南側の特権
例：エアポートウォークの滑走路側

【河村環委員】

- ・えびせんの里のようなセルフカフェ又は北名古屋市もえの丘のようなシルバー人材センターで営業
- ・朝市のような、地元野菜、花苗木などの販売
- ・足湯、花壇、プランター栽培講習会ミニ（季節野菜花の育て方を教えあう場）
- ・リサイクルステーション（一輪車、ランドセル、制服、家具、食器、衣類なども）
リサイクル・リユース・リデュース
- ・女性の会（廃油石鹸づくり・味噌づくり）

【二村委員】

- ・平時から県防災公園との往来がスムーズとなり、双方の施設で来園者の利便性が高まるような配慮をお願いしたい。
- ・県の防災啓発イベントなど各種イベントの開催でも連携し、一体的な活用をお願いしたい。

●緑地帯（オープンスペース）の整備・活用について

【加藤委員】

- ・マルシェなどの開催が可能なオープンスペースを想定し、付加的に以下をご検討願いたい。
 - ① キッチンカーの受け入れを可能として賑わい施設との相乗効果を企図
 - ② 移動式八百屋等の受け入れの想定した空間（屋根した空間など）
 - ③ 芝生広場等の公園的空間は、愛知防災公園に隣接することから最小限で良いのでは

【柄谷委員】

- ・マンホール型防災トイレの設置（駐車場の方がベター？）、東日本大震災の事例：バイオ分解式トイレは概ね好評
- ・飲料水・生活水の確保→耐震性貯水槽の設置
- ・水辺空間（せせらぎゾーン）の整備
- ・避難時の子供たちのストレス解消・プレイルーム（外遊び）としての活用
- ・外部支援サービス（ボランティア等）の受け入れ
- ・かまどベンチの設置（炊き出し・煮沸消毒等）

- ・防災あずまや（平時：憩いスペース、災害時：テントシートを下ろして固定）
- ・（アリーナと合わせて）平時の炊き出し訓練・デイキャンプ・防災サバイバルキャンプ等に活用
- ・災害救援自動販売機の設置（停電後4～8時間以内であれば非常用電源により飲み物を取り出せる）
- ・揚水ポンプの設置（手動くみ上げ、生活水の確保）

【坪井委員】

- ・キッチンカー等が販売できるように整備（電気設備も整理）
- ・一部屋根を作成してイベント会場に出来るように
- ・オープンカフェを整備
- ・町の特産品の販売スペースを整備

【安藤定雄委員】

- ・芝にして野外での音楽的なもの等が出来る様にしたらどうか。



- ・電燈も整備して下さい。もちろん水の設備等も。
- ・豊山町エリア内の野外に、多めに便所（手洗等も大きめに願いたい）の整備をして頂いて下さい。（建物内とは別に）

【石川委員】

- ・せっかく空港が近いので、離着陸する飛行機が見れる施設（場所）にしてほしい。

【河村千恵委員】

- ・公園の外周には木陰や東屋が欲しい。テントも張れるスペース
- ・花と緑あふれる公園
- ・子ども広場には、巨大アスレチックと噴水広場で下は柔らかい素材（岐阜のアクア・トト岐阜のオアシスパークのような広場）
- ・バスケットコート（大人も子どもも混ざって練習できる）東京の黎明橋公園内
- ・ウォーキングやマラソンコース
- ・トイレ
- ・青山（ブルーマウンテン）斜面でソリ滑り（碧南臨海公園）高さ7m直径70m

【佐藤委員】

- ・エントランス広場や芝生広場などでは、キッチンカーやテント屋台などが集まるマルシェが開けるスペースとAC電源設備等の設置をお願いします。また、その際には、商工会員が優先して参加できるようご配慮をお願いします。

【山田委員】

- ・オープンカフェの飲食施設の整備は、若者が利用するスターバックスコーヒーの出店を検討されては。
- ・農園で採れた野菜や地元農産物を作ったメニューの提供。（レストラン）
- ・マルシェでは北部市場と連携できないか。
- ・ATM、自販機の設置。
- ・マルシェ×カフェ×足湯×広場

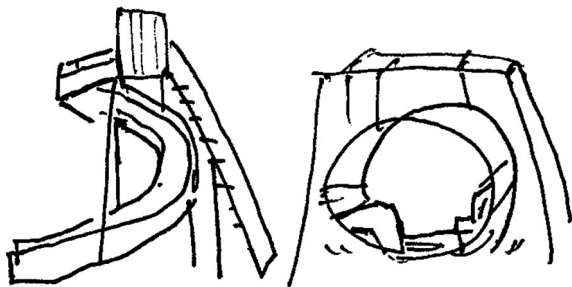
【竹内委員】

- ・震災や災害避難時に、仮設テントの設置や屋内が危険な時（震災）に避難する場所となる

- パブリックコメント、基本コンセプト（案）からも
 ⇒非常電源の確保、水はけのよさ、あずまや、かまどベンチなど災害時に必要な設備
- ・手ぶらでBBQができる
 - ⇒防災体験学習として使用できる

【河村環委員】

- ・県部分や町の部分も含めて、ウォーキングコース又はサイクリングコース。距離表示ありで
- ・途中にベンチ、自販機、時計、簡易トイレ
- ・寝転がっても平気な芝
- ・遊具（回転滑り台、ゆりかご箱ブランコ、飛行機の古タイヤ活用）



【二村委員】

- ・平時から県の公園とも往来がスムーズとなり、双方の施設で来園者の利便性が高まるような配慮をお願いしたい。
- ・県の防災啓発イベントなど各種イベントの開催でも連携し、一体的な活用をお願いしたい。

●駐車場の整備について

【加藤委員】

- ・アリーナと賑わい施設の利用者に必要な規模の駐車場を必須として以下をご検討願いたい。
 - ① コミュニティバス等の公共交通の発着に転用可能な空間・動線の確保
 - ② 非常時の災害トイレなどに対応可能な設備等

【柄谷委員】

- ・応急仮設住宅等の整備用地として活用
- ・軽トラマルシェなど移動型商業・販売スペースとして活用（平時・災害時も活用可能）
- ・防災拠点・観光客を見据えた大型バススペースの確保（防災を学ぶなら豊山町へアピール）
- ・車中やテント避難者の受け入れの検討（想定避難者数を超える可能性）

【坪井委員】

- ・防犯上や長時間違法駐車を減らすためゲートを設置（有料化）
- ・EV車両用の充電設備整備

【安藤定雄委員】

- ・資料には明記されていませんが、駐車場の表層仕上げ（舗装かな？）について意見ですが、たとえば人工芝等にはいかがでしょうか。
- ・こうする事により、使用範囲が広がると思いますが！！もちろん車止め等は無しにする。
- ・位置に関しては、もちろん、道路よりスムーズに入り、すみやかに出られる様にしたい。

【池山委員】

- ・ 駐車車両の整流化に留意いただきたい。

【河村千恵委員】

- ・ 駐車場・駐輪場（自転車・バイク）⇒ 救援車両の駐車場・ペットの避難スペース・屋外での救援救護スペース
- ・ 一角で幼児の自転車練習や一輪車の練習場（父兄必須）

【佐藤委員】

- ・ 賑わい施設の駐車場には、タウンバスや名鉄バス、名古屋市営バス、近隣市のコミュニティバスなどが乗り入れ、相互に乗り継ぎができるターミナルは必要と考えます。
- ・ 電気自動車の急速な普及に対応しEVステーションの設置をお願いします。EV時代を見据えた先進的な事例とするため、出来るだけ多く（少なくとも5台以上）設置するのはいかがでしょうか。給電中は賑わい施設での飲食や温浴施設を利用していただけるので収益面でも効果が期待できると考えます。
- ・ 非常用発電機の連続使用の限界（3日）や燃料の確保の問題等を考えた場合、ソーラーパネルによるEV自動車へ給電ができれば、EV自動車から各避難所へ電源供給することも可能となります。防災拠点のコンセプトにも大いに適合すると考えますので検討されてはいかがでしょうか。

【佐藤委員】

- ・ 子ども連れの方が多く利用されると思うので、隣同士の幅が大きくなりように白線は1本線ではなく、U字にしたほうが良い。

【山田委員】

- ・ 駐車場で行うイベントは他に駐車場があれば問題ないが、もしないようであれば行わない方が良い。路駐が増え、近隣住民に迷惑をかける。

【竹内委員】

- ・ バスのロータリー希望、災害時屋根のある場所の確保、水害時に役に立つ、限られた土地という点より

⇒ 立体駐車場を一部設置

→ 常時商業施設や、施設利用者にもメリット

夏期や雨天時の災害時に役に立つ

屋上の緑化、ソーラーパネルの設置も可能

バリアフリーのためハンディキャップのある方も避難しやすい

【河村環委員】

- ・ EV充電スポット
- ・ 自動車を詰めて停車できるよう縁石撤去しやすいものに
- ・ イベントでキッチンカーが入場可能
- ・ じゃり石こぼれ出ない
- ・ タウンバス待ちやすい場ベンチ屋根
- ・ 夜間照明、虫がわきにくい光の色で

【二村委員】

- ・ EV用急速充電設備の出力等の規格を県と町で調整をお願いしたい。
※ 県駐車場には、EV用急速充電設備を防災公園（西側）エリアに1台以上、防災公園（東側）エリア及び神明公園エリアに1台以上の計2台以上を確保することを計画している。
- ・ 県駐車場では、駐車場をベースキャンプとして活用するため、駐車桟に車止め（タイヤ

止め)を設置しない、園路と駐車場の段差を小さくするなど、車両が往来しやすいものとすることを計画している。

●その他の整備について

【加藤委員】

- ・愛知県防災公園との一体的な利用を可能とすることが重要だと思います。この観点から両施設間の移動動線について十分に配慮してください。

【柄谷委員】

- ・夜間（24時間）避難を見据えた現地まで安全にアクセスできる入口表示灯や非常用公園灯の整備
- ・国道41号線とのアクセス利便性の確保（車避難・徒歩避難）→従来の公共交通至便を解消できるか？
- ・Park-PFI（公募設置管理制度・民間ノウハウ・資金の活用）等の導入

【坪井委員】

- ・今回の整備全体を含めて1周1km以上のウォーキング、ランニングができる経路を整備
- ・県消防学校のグラウンド、体育館を休校日に豊山町民（団体）に使用できるように要望してほしい

【安藤定雄委員】

- ・現在、社会教育センターにあるホール（人員336人）に対していいですが、音響設備、電気等は古くて現在とは合っておりませんので、ぜひ、アリーナの整備の所で書きましたが、電気、音響、客席等、現代及びこれからの事を思い整備してほしいものです。

【石川委員】

- ・臨空公園（神明公園）から臨空第2公園まで遠くないか。
- ・間に消防学校が入ってしまっているのがもったいない。

【河村千恵委員】

- ・段差がなくフラットな状態
- ・町民が気軽に立ち寄り過ごせる場所
- ・バスターミナルの設置
- ・防災運動会
- ・温水プールは可能？（アリーナ内）スカイプールがなくなった

【佐藤委員】

〈事業手法について〉

- ・平時の県防災公園並びに賑わい施設等の効果的な運営はもとより利用者の利便性向上と魅力的な施設とするため、県防災公園等を含め一体して活用できる事業手法を検討されてはいかがでしょうか。

【山田委員】

- ・消防職員を連携したイベント（防災訓練など）の開催。

【竹内委員】

- ・避難所になったときに、施設の建物の中のみではなく外でも情報が聞こえるように随所へスピーカー設置
- ・県のエリアとの協力や共同、同時利用でのイベントを可能にする
- ・boonとのアクセスのし易さに工夫が必要と思われる
- ・様々なレンタル用品の導入（アウトドア用品、スポーツ用品）⇒賑わいの創出

※無料も導入（例：大なわや竹馬などの子ども用など）

- ・小さな町だからこそ！シェアサイクル導入も検討しては？→町内の活性化につながる
- ・マルシェ等のイベント開催を想定した設備（電源確保、キッチンカー乗り入れなど）
⇒「今だけ、ここだけ」で集客、賑わい施設の店だけで定番化させない
⇒電源や乗り入れは災害時にも使用できる
整えることでアウトドアに強い施設になる

【石黒委員】

街づくりプロデューサーとして、40年弱地域活性化、地域再生、それに伴う施設開発、政策実現等の総合プロデュースを行ってきました。手懸けた街や施設はいずれも評価を頂き、全国地域再生優秀賞、活性化モデル等を頂いています。

プロデューサーとして、私の知りうる町の進捗に鑑みますと、施設の内容（コンセプト等）以前に、実績や実現力のあるプロとの協働の中から生まれる、豊山町役場の人々のナレッジキャピタル（知的資源）のアップにつながる、街づくり型施設開発プロジェクトチームの立ち上げが急務なことと考えます。

出来上がった施設、それに伴う街づくり活動、これらを通じた職員の質的向上等参考になるのは、私が総合プロデュースした「三重県いなべ市及びにぎわいの森」も、その一つではと思います。ご一考ください。

【河村環委員】

- ・今町内にあるものを活かして、少しだけ置いてみて、必要に応じて増やしていくという方向で、すべてを必ずあってほしいというものでもない。
- ・福祉施設にあるお風呂も利用者少なくやめてしまうことになってしまったくないので、多少の有料であっても利用できてよかったと思えるようなものになってほしい。

【二村委員】

- ・北側の愛知県防災公園との往来が容易な施設配置にご配慮いただきたい。
- ・県拠点の具体的な計画は未定ですが、入札公告資料の要求水準書で県事業計画地の隣接地に豊山町の賑わい施設・避難所（アリーナ）等の整備が計画されていることは、PFIの提案事業者には留意することを要求している。
- ・災害時の運用については、県と町との運用が異なることから、災害時の動線に配慮し、詳細は県と協議をお願いしたい。